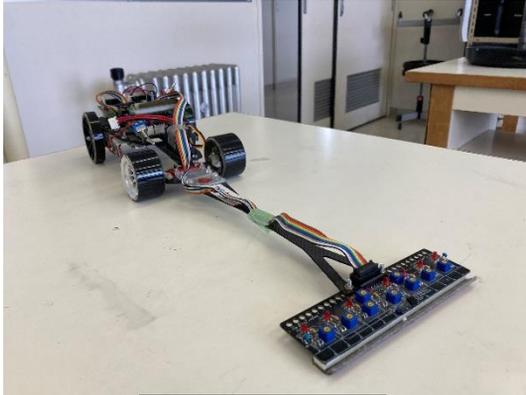
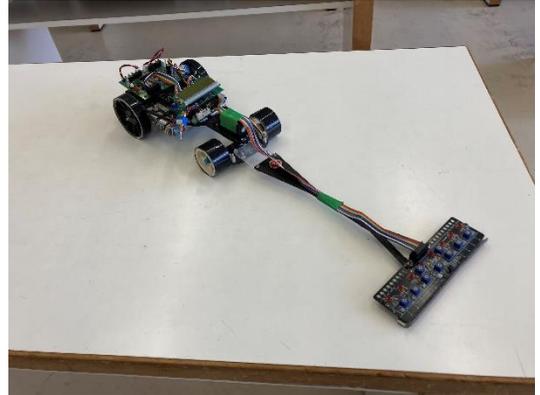


# マイコンカーBasicの研究

電子情報科 澤田 恭佑、金井 來知、洞庭 咲矢、中村 連大



クラウン



トライデント

## コース紹介



## 背景

自律制御して左右折や停止するミニカーを作りたかった。そのために新しくプログラミングを学び直し、その他にも設計 技術、機械加工技術、電子回路など一から学ぶ必要があった。

## 目的

コースを完走する。なるべく時間を早くする。全国出場する。マイコンカーの制作を通してものづくりの面白さや難しさを体験し、みんなに知ってもらう。

## 経過

コースを完走させるのに大会上位者の走りを調べた。また、先輩がたが残してくださったプログラムを参考にした。しかし、光の加減ですぐに挙動がおかしくなったり動かなくなったりした。完璧なプログラムを作るのはとても難題だと判断し、一番うまくいくプログラムで大会に臨んだ。

## 方法

ミニカーの仕組みを知るために制作キットを作成した。それからプログラムについて学び、学んだプログラムをマイコンカーにプログラムするのに試行錯誤した。次にコースを走らせる、そして改善する、の繰り返しを行った。

## 結果

車の名前	タイム1	タイム2
クラウン	失格	失格
トライデント	失格	失格

場所によって光の加減が変わるのでそれに対応するのが難しかった

途中乾電池をプラスマイナス逆につけた

## 考察

光の加減が変わったとしてもそれに対応できるプログラムを作るとコースを完走できるかもしれない。またプログラマ側ももっと技術と知識を増やす必要がある。